

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅲ				矢口 芳生	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	2 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>都市とはいっても市街地を一步離れると、農林地の広がる田園地帯である。食料・農業・農村は、持続可能な社会の形成にとって熟慮すべき対象のひとつである。ゼミでは福知山市三和町の自然・社会・文化の実態を調べ、なかでも農業・農村の現状と課題を理解する。三和町から各自が生きた課題・問題を探り当て、現状の把握・分析を行い、解決への手掛かりを探る。また、農村にはお祭りやその他多くの行事もあり、授業では田舎の暮らしも体験したい。そうした授業をとおして、農業・農村・暮らしとは何かを深く考える。</p> <p>フィールドの関係上、決められた授業時間内に収まらない場合もあるが、適宜、ゼミ生と相談して授業は運営する。三和町以外の農業や農村の暮らしを知るために、機会があれば遠出 (1泊2日) をすることがあるかもしれない。田舎や田舎暮らしの「よさ」・「新しい社会的価値」等、何かを感じ取ってもらうことが目的である。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>座学をとおして、食料・農業・農村に関する知識を身につける。また、三和町の現地を訪問し、農業・暮らしを実体験することにより座学での知識の理解を深める。これらにより、</p> <p>①実社会に直接触れることにより、幅広いキャリア観をもつ、 ②地域社会に対する理解と共感を持つ、 ③コミュニケーション能力を高め、多様な価値観や意見に対する受容力を高める、 ④主体的な学びを身につける、等を到達目標とする。</p>					
第 1 回	オリエンテーション、持続可能性・持続可能な社会とは何か				
第 2 回	日本と世界の食料・農業・農村をテキストから学ぶ (1)				
第 3 回	日本と世界の食料・農業・農村をテキストから学ぶ (2)				
第 4 回	福知山市三和町を理解する				
第 5 回	福知山市三和町を実体験する (1)				
第 6 回	福知山市三和町を実体験する (2)				
第 7 回	福知山市三和町を実体験する (3)				
第 8 回	福知山市三和町を実体験する (4)				
第 9 回	福知山市三和町を実体験する (5)				
第 10 回	福知山市三和町を実体験する (6)				
第 11 回	他市町村を実体験する (1)				
第 12 回	他市町村を実体験する (2)				
第 13 回	他市町村を実体験する (3)				
第 14 回	他市町村を実体験する (4)				
第 15 回	取りまとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>1. テキストを必ず読んでおくこと。 2. 自分の住んでいる地域の農家の人々と話す機会をつくってみよう。 3. 農家の悩み、課題や問題の解決方向について農家とともに考えてみよう。 4. 「学生プロジェクト」にも挑戦してみよう。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (60%) 課題レポート・発表 (40%)	現地訪問等があり、授業への積極的な参加姿勢が必要不可欠である。そのため、成績の評価は、出席、授業中の発言、リーダーシップ等を重視する。
テキスト (Textbook)	『世界と日本の食料・農業・農村に関するファクトブック2018』 【書名】 業・農村に関するファクトブック2018】 【著者】 JA全中 【出版社】 (株) 日本農業新聞 【出版年】 2018年
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	テキストは、研究室で準備します。
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	研究室前に掲示したTel/Mail等へ連絡 もしくは在室時に直接面談。